

～世界自然遺産“知床”のもとで斜里岳を源流に育まれる農業とサケ・マスの水揚げ日本一の漁業を守る流域治水対策～

○昭和50年及び平成4年の洪水で甚大な被害が発生した斜里川水系では、農地と水産資源を水害から守る流域治水プロジェクトとして以下の取り組みを一層推進していくことで、昭和50年8月洪水及び平成4年9月と同規模の洪水に対応した治水対策を行い、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 河川改修(河道掘削、堤防整備等)
  - 河畔林の維持管理
  - 森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備・森林保全対策
  - 山地災害から流域を守る治山対策
  - 排水機場整備・管理
  - 内水処理対策(排水ポンプ増強)
  - 農地造成等に対する雨水貯留施設等の設置
  - 生産空間を守る農業排水路等の整備
  - 排水路施設等の整備

- 被害を減少させるための対策**
- 水防資機材備蓄基地の整備
  - 避難指示等の発令区域、発令基準等の設定
  - 堤防天端の保護(舗装整備)

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの整備
  - ホットライン等を活用した情報発信の強化
  - 浸水想定区域図、ハザードマップの公表と配布
  - 避難訓練・防災教育等の実施、防災体制の強化
  - 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の実施
  - 排水施設・排水資機材の情報共有と連絡体制の構築



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○斜里川水系では、国、道、町が一体となり、以下の手順で「流域治水」を推進する。  
○あわせて、日本の食を支える「生産空間」を活力ある地域として守っていくため、以下の手順で気候変動に備えた「流域治水」を推進する。

- 【短期】斜里市街地等での重大災害の発生を未然に防ぎ、かつ、内水被害軽減のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。
- 【中期】斜里町の浸水被害を防ぐため河道掘削を概ね完了させ、斜里町郊外地区の冠水被害軽減対策区間に着手するとともに、多段的な浸水リスク情報を充実させたまちづくりの取組を推進する。
- 【中長期】流域治水プロジェクトによりあらゆる関係者の協働による被害の軽減、被害対象を減少させる対策及び早期復旧・復興のための対策を引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修(河道掘削、堤防整備等)	オホーツク総合振興局	河川整備完了		維持管理
	河畔林の維持管理	オホーツク総合振興局、斜里町、清里町			
	森林の水涵養機能の維持・向上のための森林整備・森林保全対策	オホーツク総合振興局、斜里町、清里町、網走南部森林管理署、森林組合 等	植栽・間伐などの森林整備		
	山地災害から流域を守る治山対策	オホーツク総合振興局、網走南部森林管理署	山腹施設の整備・維持管理		
	排水機場整備・管理	網走開発建設部、斜里町			
	内水処理対策(排水ポンプ増強)	オホーツク総合振興局、斜里町	管理・増強		
	農地造成等に対する雨水貯留施設等の設置	オホーツク総合振興局、清里町			
	生産空間を守る農業排水路等の整備	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、斜里町、清里町	施設整備・維持管理		
	排水路施設等の整備	オホーツク総合振興局、斜里町、清里町	施設整備・維持管理		
被害を減少させるための対策	水防資機材備蓄基地の整備	オホーツク総合振興局、斜里町、清里町	備蓄基地の整備・備蓄・充実		
	避難指示等の発令区域、発令基準等の設定	オホーツク総合振興局、斜里町、清里町			
	堤防天端の保護(舗装整備)	オホーツク総合振興局	整備完了		
被害の軽減 早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの整備	オホーツク総合振興局	設置完了		
	ホットライン等を活用した情報発信の強化	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、斜里町、清里町			
	浸水想定区域図、ハザードマップの公表と配布	オホーツク総合振興局、斜里町、清里町	随時更新		
	避難訓練・防災教育等の実施、防災体制の強化	オホーツク総合振興局、斜里町、清里町			
	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の実施	オホーツク総合振興局、斜里町、清里町			
	排水施設・排水資機材の情報共有と連絡体制の構築	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、斜里町、清里町			

■河川対策  
全体事業費：約32億円  
河道掘削、堤防整備等  
※R3以降の残事業費を記載  
※事業費は今後変更になる可能性がある



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。